

2009年度第3四半期 連結決算ハイライト (米国会計基準)

2009年度第3四半期決算の概要

(単位: 億円 △損失、減少)

・当第3四半期の「当社株主帰属四半期純利益」は、前年同期比17億円増益の253億円となった。

・セグメント別では、繊維が前年同期比30億円増益の61億円、食料が前年同期比13億円増益の74億円。加えて、機械、金融・不動産・保険・物流も赤字幅が改善し、それぞれ44億円、21億円の前年同期比増益となった。金属・エネルギーは金属資源・エネルギー価格の下落があったものの、前年同期における米国メキシコ湾 エントラーダ油ガス田開発計画中止に伴う損失処理の反動(以下、「エントラーダ油ガス田関連損失」)等により、前年同期比ほぼ横ばいの163億円。生活資材・化学品、情報通信・航空電子は減益(「オペレーティングセグメント情報」参照)となった。

経営成績	2009年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	前年同期比		主たる増減要因
			増減額	増減率(%)	
収益	8,629	10,332	△ 1,703	△ 16.5%	<p>・収益: 金属資源・エネルギー価格下落、自動車及び建機取引の不調、飼料穀物等の食料原料価格下落の影響等により減収</p> <p>・売上総利益: (増減分野及び商品等) 「オペレーティングセグメント情報」参照 繊維: 繊維原料、織物、衣料品等の市況低迷による減少があったものの、(株)ジャヴァーホルディングスの連結子会社化により増益</p> <p>機械: 自動車及び建機取引の不調に伴う売上減により減益</p> <p>情報: 全般的に不調だが、国内情報産業関連事業は堅調に推移し、ほぼ横ばい</p> <p>金エネ: 金属資源・エネルギー価格の大幅下落、国内エネルギー需要の低迷により減益</p> <p>生化: 日米住宅市況低迷により減益となったものの、シーア化成(株)の連結子会社化による影響で増益</p> <p>食料: 食品流通関連の減収に伴う影響はあったものの、飼料穀物・油脂等食料原料関連における増益等</p> <p>金不保物: (株)アイ・ロジスティクス(注1)の連結子会社化による増加があったものの、前年同期の投資家向け賃貸用不動産の販売の反動・金融関連事業での減収により減益</p> <p>・販売費及び一般管理費: 経費の削減等</p> <p>・貸倒引当金繰入額: 前年同期の貸倒引当金戻入益の反動等△5</p> <p>・金融収支: 米ドル金利低下による好転、LNG関連受取配当金減少△32</p> <p>・投資及び有価証券に係る損益: 株式評価損減少+167、株式売却損益悪化△19、事業整理損減少他+31</p> <p>・固定資産に係る損益: 前年同期のエントラーダ油ガス田関連損失(i)/その他の減損処理等(ii)の反動+328[(i)+266/(ii)+63]、固定資産売却損益好転他+4</p> <p>・その他の損益: 前年同期のエントラーダ油ガス田関連損失の反動+105、為替損益の悪化△20、その他損益△40</p> <p>・持分法による投資損益: 日伯鉄鉱石(株)+13、頂新(ケイマン)ホールディング+11、日伯紙パルプ資源開発(株)△30、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)△7、IMEAの持分法投資損益△4等</p> <p>(注1) (株)アイ・ロジスティクスは、2010年1月1日に伊藤忠ロジスティクス(株)に商号変更しております。</p>
売上総利益	2,361	2,825	△ 464	△ 16.4%	
その他の収益(△費用)					
販売費及び一般管理費	△ 1,961	△ 2,047	+ 86	△ 4.2%	
貸倒引当金繰入額	△ 6	△ 1	△ 5	+ 346.4%	
金利収支	△ 57	△ 76	+ 19	△ 24.9%	
受取配当金	40	93	△ 53	△ 57.0%	
(金融収支)	(△ 17)	(18)	(△ 34)	(—)	
投資及び有価証券に係る損益	△ 7	△ 186	+ 179	—	
固定資産に係る損益	△ 11	△ 343	+ 332	—	
その他の損益	△ 25	△ 71	+ 46	—	
その他の収益(△費用)計	△ 2,027	△ 2,631	+ 604	△ 23.0%	
税引前利益	334	194	+ 140	+ 72.1%	
法人税等	△ 180	△ 88	△ 92	+ 103.8%	
税引後利益	154	106	+ 48	+ 45.6%	
持分法による投資損益	134	157	△ 24	△ 15.0%	
四半期純利益	288	263	+ 25	+ 9.3%	
非支配持分帰属四半期純利益	△ 35	△ 28	△ 7	+ 26.3%	
当社株主帰属四半期純利益	253	236	+ 17	+ 7.3%	
(参考)					
売上高	26,952	31,752	△ 4,800	△ 15.1%	
(売上総利益率)	(8.8%)	(8.9%)	(△ 0.1%)		
営業利益	393	776	△ 383	△ 49.3%	
実態利益	516	952	△ 436	△ 45.8%	

実態利益＝売上総利益＋販売費及び一般管理費＋金融収支＋持分法による投資損益

オペレーティング セグメント情報	売上総利益(注2)			当社株主帰属四半期純利益			【当期純利益】主たる増減要因 (注2) 売上総利益については、「経営成績」の「主たる増減要因」参照
	2009年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	前年同期比	2009年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	前年同期比	
繊維	308	274	+ 34	61	31	+ 30	営業利益の減少があったものの、投資及び有価証券損益の好転により増益
機械	75	215	△ 140	△ 23	△ 67	+ 44	営業利益の減少があったものの、前年同期における投資有価証券評価損の反動、持分法投資損益の好転もあり増益
情報通信・航空電子	332	330	+ 3	△ 8	7	△ 15	営業利益の増加があったものの、投資有価証券評価損の計上により減益
金属・エネルギー	378	729	△ 351	163	163	+ 1	営業利益の大幅減少、持分法投資損益の悪化等もあるも、前年同期のエントラーダ油ガス田関連損失の反動もあり、ほぼ横ばい
生活資材・化学品	292	269	+ 23	45	50	△ 5	投資有価証券損益の好転があったものの、持分法投資損益の悪化により減益
食料	862	859	+ 3	74	61	+ 13	営業利益の増加等により増益
金融・不動産・保険・物流	81	107	△ 26	△ 7	△ 28	+ 21	営業利益の減少があったものの、投資有価証券損益の好転及び前年同期の固定資産評価損の反動により増益
その他及び修正消去	32	42	△ 10	△ 53	17	△ 70	北米設備資材取引の不調、一時的な税額負担増により減益
合計	2,361	2,825	△ 464	253	236	+ 17	営業利益については、「平成22年3月期 第3四半期決算」P.16-17をご参照ください。

当期純利益の 会社区分別内訳	2009年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	前年同期比	2009年度 第3四半期		
				2009年度 第3四半期	2008年度 第3四半期	前年同期比
単体	181	△ 170	+ 350	253	236	17
事業会社	342	256	+ 86	175	183	△ 8
海外現地法人	15	60	△ 44	(69%)	(78%)	
連結修正	△ 285	89	△ 375			
当社株主帰属四半期純利益	253	236	+ 17			

当社株主帰属四半期純利益
内、海外事業損益(注3)
(海外事業損益比率)

(注3) 海外事業損益は、海外現地法人及び海外事業会社の損益合計に、親会社の海外支店及び収益源が海外にある特定海外事業のため日本に設立された会社の損益を加えたものです。